

空気清浄機性能試験のご案内

日本電機工業会規格（JEM1467）に準拠し、下記の試験を実施できます。
広告などで性能を表示する場合、景品表示法上、合理的根拠が求められます。
リスクマネジメントの一環としてご活用ください。

脱臭性能試験

（¥ 60,000-/回）



1m³の測定ボックス内にて行います。
たばこを5本燃焼させ、アンモニア、
アセトアルデヒド、酢酸の3種類を測定します。

3つの臭気成分の初期濃度と
空気清浄機運転後（30分）の濃度を比較し、
脱臭性能を算出します。

集じん性能試験

（¥ 75,000-/回）



約6畳の試験室にて行います。
脱臭試験と同様にたばこを燃焼させた後、専用の
デジタル粉じん計を用いて濃度を測定します。

空気清浄機運転開始前後の濃度を比較することで
空間清浄の指標である適用床面積※を算出します。

※適用床面積

→規定の粉じん濃度の汚れを30分で清浄できる部屋の広さ

※集じん性能試験では規格に定める一定の粉じん濃度に減衰しない場合、
適用床面積の算出が出来ません（1時間以内）。
減衰する迄の試験延長をする場合は追加費用（¥20,000/h）が発生します。

■ 微小粒子状物質（PM2.5）に対する除去性能評価試験

（¥99,000-/回）



PM2.5とは、大気中に漂う粒子径2.5 μ m以下の小さな粒子を指します。

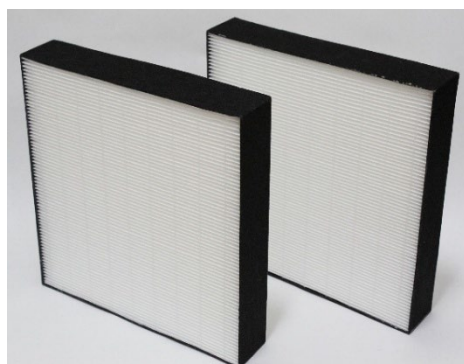
基本的な試験方法は集じん試験と同様ですが、0.1~2.5 μ mの範囲の微粒子の濃度が測定できる専用のデジタル粉じん計を使用します。

微粒子を90分以内で99%除去できることが性能判定の目安となっています。

■ フィルターの耐久性試験

脱臭フィルター耐久性試験（1年間分評価：¥550,000-）

集じんフィルター耐久性試験（1年間分評価：¥1,365,000-）



脱臭・集じん各フィルターの耐久性試験についても承っています。新品のフィルターが性能を維持できる期間の目安を検証します。

フィルター耐用年数を表示するには必須な試験です。

備考

- 1機種1運転モードで1回試験を実施する場合の金額です。
（初めて取引されるお客様には試験金額の前払いとさせていただきます。）
- その他に報告書作成費（和文：¥10,000-、英文：¥20,000-）が必要です。
英文報告書は依頼された場合に限りです。
- 金額は全て税抜き費用になります。

試験条件

- ・試験対象の空気清浄機は AC100V 機器に限らせていただいております。
- ・脱臭性能試験での試験機は 1 m³ (1 辺が 1m) の箱に入る大きさが条件となります。
- ・各試験ごとに新品フィルターをご用意ください。脱臭性能、集じん性能を測定する場合は 2 組の新品フィルターが必要です。

納期など

脱臭、集じん、PM2.5 除去試験

機体をお預かり後、報告書提出まで 1 台 1 回の場合、約 2 週間ですが、試験予定の混雑状況により変わりますのでお問い合わせください。

脱臭、集じん各フィルター耐久性試験

脱臭フィルター 1 年間分評価の場合：約 2 週間の試験期間が必要です。

集じんフィルター 1 年間分評価の場合：約 3 週間の試験期間が必要です。

※フィルター耐久性試験の金額は 1 日 5 本喫煙の設定です。3 年喫煙評価は、
× 3 になります。

JEM1467 などの下記試験は行っておりません

- ・ 附属書 A のフィルター単体の捕集率（効率）試験
- ・ 附属書 D、附属書 F のウイルス除去・抑制の各試験
- ・ 風量などの形式検査
- ・ 消費電力、運転音などの製品検査
- ・ 米国家電製品協会/AHAM の CADR 値

附属書 E（室内付着ウイルスに対する抑制性能評価試験）については
微生物・環境部門にて承っておりますのでお問い合わせください。

微生物試験に関する試験のお問い合わせはこちら